

行政課題シート（4）

行政課題テーマ	救急搬送時の情報共有の効率化
---------	----------------

実証プロジェクトの内容など	
（現状・課題）	<p>○災害現場や事故現場において、傷病者の状態を迅速にかつ正確に判断し、関連機関を含め、確実に状況を伝達することが不可欠である。</p> <p>○現在、傷病者を医療機関へ救急搬送する際、大阪府の「ORION アプリ」の使用により、効率的に傷病者を医療機関へ搬送している。しかし、当システム上は傷病者の容態を伝えるものであり、氏名・住所等を医療機関へ詳細に伝達するものではないため、医療機関への引継ぎの際は、複写式の「傷病者搬送通知書」に傷病者の詳細な情報を手書きで記入し、医療機関へ伝達している。また医療機関では救急隊員から受領した「傷病者搬送通知書」をスキャンし、電子カルテに添付しているなど、労力を要している。</p> <p>○また、有事の際は医療資源を効率的かつ最大限に活用するため、トリアージ（傷病者の緊急度・重症度判定）を導入しているが、従来のトリアージタグは複写式の紙ベースであり、血液汚損や書き損じ、上書きされた記録が判別困難となる。また救出された場所や時間の情報を基に事後検証を実施する際、トリアージの情報を要するものの、手書きの紙をデータ化するのが困難になる。</p> <p>○このように、時間や労力を要するだけでなく、情報管理の面で課題がある。</p>
（求める提案の内容）	<p>○ICT 技術を活用し、スマートフォンを用いて平常時に使用している「傷病者搬送通知書」を簡単に作成し、加えて既存のトリアージタグとスマートフォンを組み合わせたハイブリッド型のスマートトリアージシステムを開発することで、効率的に情報共有ができる仕組みを構築。</p>

事業所管課：消防局 救急部 救急ワークステーション